

平成21年4月27日

九州大学学生、教職員及び全ての関係者 各位

九州大学新型インフルエンザ対策本部WG長 今泉勝己

豚インフルエンザに対する対応について(重要)

メキシコと米国で豚インフルエンザの人への感染が多数確認されたことを受け、世界保健機関(WHO)は4月25日付で、各国当局に対し、インフルエンザが疑われる症例に注意するよう呼びかけています。

そこで、本学対策本部WGは、本学の全ての関係者に対し、以下の事項について注意喚起及び要請を行います。各位におかれては、十分な意識を持って対応いただきますようお願いいたします。

<海外への渡航について(外務省 HP においても同様の注意喚起を行っています)>

1. 既に多数の死者が出ているメキシコへの渡航については、その是非を検討ください。

また、既に人への感染が報告されているアメリカへの渡航に当たっては、人混みを避ける、うがい・手洗い、マスク着用などの対応を行ってください。

<国内での対応について>

2. 海外へ渡航を行わない場合でも、福岡には多数の旅行者等が訪れており、注意が必要です。

情報の入手に心がけ、先に配布している「新型インフルエンザ予防マニュアル」を再度確認して、冷静な行動と準備を行ってください。

また、外出に当たっては、人混みを避ける、うがい・手洗い、マスク着用の励行をお願いします。

【参考】<http://www.ihs.kyushu-u.ac.jp/PandemicFlu/pdf/Teachers.pdf>

<今後の対応について>

3. 今後、日本国内で新型インフルエンザの発生と人から人への感染が確認された場合には、休講等の諸措置を採ります。

必要な情報は、本学 HP に随時掲載しますので、きちんと確認するよう、心がけてください。また、体調の不良や新型インフルエンザに関する質問は、本学健康科学センターの HP

(<http://www.ihs.kyushu-u.ac.jp/>)を参考にするか、pandemicflu@ihs.kyushu-u.ac.jp に連絡してください。

以上